

上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（若手研究）

研究代表者 所属・職名 上越教育大学附属中学校・教諭

氏 名 猪股 大輔

研究期間 令和2年度

研究プロジェクトの名称	生徒が「英語で世界を広げる」ための場の設定に向けた海外の学校との連携
研究プロジェクトの概要	<p>日本語が通じない英語を第二言語とする外国人との実際のコミュニケーションの場を設定し、互いに自分自身や自国のことなどを話題にやり取りすることを通して「英語で世界を広げる」と実践的なコミュニケーション能力を高めることをねらう。また、昨今の情勢により自由に他国と行き来できない中で、インターネットを介した遠隔授業でのVRゴーグルを用いた臨場感のあるコミュニケーションの可能性を探る。</p> <p>実践的な英語でのコミュニケーションの経験を何度も積むことで、英語で難しい内容についてやり取りをするようになり、実際には学校の教室だけの勉強では足りず、内容に見合うだけの英語力を身に付けようと更に意欲的に英語学習に取り組むきっかけになると考える。</p>
研究成果の概要	<p>中学校3年生英語科の学習において、臺北市立大直高級中學(Taipei Municipal Dazhi High School)の学生とビデオ会議システムやVRゴーグルを用いた遠隔授業による実践的な英語コミュニケーションの場を設定した。日本の中学生と台湾の学生がグループ同士で相互にプレゼンテーションと質疑応答を行った。プレゼンテーションの前後には、自己紹介を行ったり、日常的な話題について話したりするなど、自由に英語でやり取りをした。プレゼンテーションを作成し、繰り返しシミュレーションを行う過程においては、生徒は仲間からの評価や助言を参考にして、プレゼンテーションのスライドと原稿、そして発表方法の修正をしており、考えや気持ちなどの主張が伝わるプレゼンテーションを完成させようと粘り強く取り組んだ。実際に学校や教室に多くの外国人を招いて少人数同士や一対一でコミュニケーションを行うことは、様々な条件から制約が掛かり、実現が難しい。しかし、ICT機器を用いることにより「誰かと話す」という体験が非常に高い質で実現された。授業後の振り返りでは、多数の生徒が活動に対して肯定的な記述を残し、英語学習に対する意欲を高めるきっかけとした。</p>
研究成果の発表状況	2020年10月26日に実施された本校の公開授業の英語科協議会において口頭発表を行った。
学校現場や授業への研究成果の還元について	臺北市立大直高級中學(Taipei Municipal Dazhi High School)の学生とビデオ会議システムやVRゴーグルを用いた遠隔授業を継続していく。また、今後の当校の研究協議会や地域の英語科職員の研修会などでも実践を紹介していく予定である。